



国際常民文化研究機構 第6回公開研究会

「寄り合い」と朝鮮戦争

宮本常一の 九学会連合対馬調査をめぐって

□宮本常一の代表作『忘れられた日本人』冒頭に収められた有名なエッセイ「対馬にて」は、朝鮮戦争が勃発した1950年から51年にかけて九学会連合（50年は八学会連合）が対馬で実施した大規模フィールド調査時における宮本の経験に基づいている。朝鮮戦争期、朝鮮半島と目と鼻の先にある対馬に渡った宮本は何を見、何を考えたのだろうか。本発表では、宮本常一の戦後の幅広い活動の原点となった九学会連合対馬調査に焦点を当て、宮本の思想に迫ることを目指す。

講師 日本大学教授

坂野 徹 氏

コメンテーター 武蔵野美術大学名誉教授

田村善次郎 氏

日時 : 2011年9月24日(土) 15:00~17:00 (受付開始14:30)

場所 : 神奈川大学横浜キャンパス 16号館視聴覚ホールB

■事前の申し込みは不要です。参加無料